

石川の学童保育

No.401

石川学童保育
連絡協議会

二〇二五年度総会が開催されました

「令和六年能登半島地震」が発生し早一年半が経ちました。震源に近い奥能登地域の復旧復興は未だ途上段階にあります。また、昨年九月には能登地域で「能登半島豪雨」が発生し、河川の氾濫・土砂災害が多発し、生活再建の目途がついてきた地域に迫り打ちをかける豪雨となりました。輪島市は震災前学童保育が十二か所ありましたが、施設の損壊や指導員がいけないなどの事情から現在は八か所のみの開所となっています。県連協と繋がりのある金沢大学の鈴木先生の呼びかけで、県連協加盟の指導員有志が、被災地の子どもたちの保育のためボランティア活動に参加して頂いております。今後は、能登地域への

【ご挨拶】石川県学童保育連絡協議会会長 森下 秀樹

「子ども支援」について、そして学童保育の再開に向けて、どのような支援が出来るか皆で考え、「地域連協」「各クラブ」の活動に繋げていきたいと思っています。

学童保育を必要とする家庭は年々増加しています。そして全国的な学童保育の一定水準の確保とそのための財政措置への期待は大きく、実効ある施策が求められ制度拡充に向けた取り組みが重要となります。今年度も、各地域連協の方々はじめ、保護者、指導員の皆様の力をお借りし、働く親の生活と共に関心を持ってくださる方々の活動していきましますので、ご協力をお願いいたします。

去る六月二十九日に県地場産業振興センターにて開催された二〇二五年度総会・記念講演会には、会員・関係者など八〇名が参加しました。国会議員や県議会議員のご来賓の皆様からは、温かい励ましや学童保育の重要性について触れられるご挨拶をいただきました。

総会では、活動報告、決算報告及び活動方針案・予算案・役員案等の提案がなされ、すべて承認されました。

総会後の記念講演会では、「子どもが主人公の人生を支える学童保育」と題して、川地 亜弥子さん（神戸大学大学院准教授）にご講演をいただきました。

学童保育に通っていたご自身のお子さんの楽しい思い出話や学童保育への熱い思いを語りながら、「子どもの権利」について詳しく解説し、その権利保障を実践しているのが学童保育であることとお話しされました。

子どもが見せる姿とその思いについてなども具体的な事例を挙げながらお話いただき、参加者からは、とても勉強になった、貴重なお話だった、とたくさんの感想が寄せられました。

【ご来賓のご紹介】

- ①ご出席者名
- 国会議員
 - ・衆議院議員 小森 卓郎 様
 - ・参議院議員 宮本 周司 様
 - 県議会議員
 - ・馬場 弘勝 様
 - ・佐藤 正幸 様
- ②代理ご出席者名
- ・衆議院議員西田昭二様
 - 代理：秘書 土倉様
 - ・衆議院議員佐々木紀様
 - 代理：秘書 道券様
 - ・参議院議員岡田直樹様
 - 代理：秘書 丹後様
- ③祝電をいただいた方
- ・衆議院議員 近藤 和也 様
 - ・県議会議員 太郎田 真理 様



【役員のご紹介】

顧問：飯田慈子、荒木田成
 会長：森下秀樹
 副会長：日吉良輔（金沢市）
 重木奈穂美（津幡町・全国役員）
 大澤大二郎（津幡町）
 新矢晃子（指導員会）
 会計：栗原美雪
 会計監査：斎藤寛、河内久美
 事務局長：森下秀樹（兼務）
 事務局次長：栗原美雪（兼務）
 事務局員：寺野かおり



川地先生の講演の様子



河内事務局長が 退任されました

2025年度総会をもって、40年にわたり石川県連協を支えてこられた、事務局長の河内久美さんが退任されました。

総会では、長年の功績をたたえ、河内さんに感謝状と花束が贈呈されました。



第60回

全国研 IN 福岡
受付始まっています!

または
リーフレット
「日本の学童ほいく」
7月号の巻末の
QRコードから
申し込みを!

全体会 2025年10月25日(土)
13:00~17:00

会場:福岡国際センター
&オンライン配信

分科会 会場の分科会
2025年10月26日(日)
9:30~16:00

会場:福岡大学・福岡大学
付属若葉高等学校

オンラインの分科会
2025年11月9日(日)
10:00~16:00

その17

県連協顧問・荒木田氏が語る

「石川県の学童保育の歴史」

1999年(平成11年)

県が県内学童保育の活動や指導員の状況などについて調査を始めました。

県連協として「指導員の仕事と労働条件」についての学習会を開催しました。

県が「放課後児童クラブ指導員の手引書」を作成し、県内2か所で研修会を開催しました。

県連協指導員部会(初任者講座を考える会)がテキストを作成しました。

県単独事業として、午後6時以降も開所しているクラブに対し、時間延長加算を開始しました。

県連協として、「少子化対策臨時特例交付金」を学童保育施設整備に活用するよう県に要請を行いました。

金沢市「金石」「ながた」、七尾市「和倉」輪島市、鹿島町、吉野谷村に各一か所開設。野々市町「すがはらクラブ」が町有施設で保育を開始しました。

金沢市連協が市議会に提出した「国への意見書採択を求める陳情書」が全会一致で採択されました。

国の補正予算に少子化対策臨時特例交付金が計上されました。

少子化対策臨時特例交付金を活用し、施設整備、備品等の購入が進みました。

全国連協が「実態調査のまとめ」、テキスト「指導員の仕事」を発行しました。

国が「新エンゼルプラン」を策定しました。

第34回全国学童保育研究集会在、群馬県高崎市で行われ、3800名の参加でした。

